

木きになる日本の建物

～過去に学び未来にいかす木造建築～

公共建築月間講演会

平成30年11月6日(火)

13:30～17:00(受付開始 13:00)

会場：国民會館武藤記念ホール 大ホール

大阪市中央区大手前2-1-2 国民會館住友生命ビル12階

<http://www.kokuminkaikan.jp/access/>

定員：200名程度



「特別史跡平城宮跡における大型木造建造物の復元」

公益財団法人文化財建造物保存技術協会 参事 春日井 道彦 氏

「木材活用の現在 -最近の設計事例より-」

株式会社 東畑建築事務所 フェローデザイン・オフィサー 一級建築士 中村 文紀 氏

「木を使った建築物 日本における今後の展開と期待」

京都大学 生存圏研究所 生活圏構造機能分野 教授 博士(工学) 五十田 博 氏

公共建築月間見学会

平城宮跡歴史公園～朱雀門ひろば～

平成30年11月28日(水)

14:00～16:30(受付開始 13:00)

定員：100名程度

講演会・見学会

参加費

無料

詳細は裏面をご参照ください。



春日井 道彦 氏

「特別史跡平城宮跡における
大型木造建造物の復元」

1989年 名古屋工業大学大学院工学研究科博士前期課程 修了
1989年 財団法人 文化財建造物保存技術協会 採用
2013年 - 同協会参事 事業部設計室史跡整備設計課長



中村 文紀 氏

「木材活用の現在
-最近の設計事例より-」

1962年 滋賀県生まれ。
1986年 神戸大学工学部建築学科卒業
1988年 同大学大学院建築学修了
1988年 - (株) 東畑建築事務所入社



五十田 博 氏

「木を使った建築物
日本における今後の展開と期待」

1965年 新潟県生まれ
1988年 新潟大学工学部建築学科卒業
1990年 東京大学大学院工学系研究科修士課程修了
1992年 同大学大学院博士課程中途退学
1992年 信州大学工学部助手
1997年 建設省(現国土交通省)建築研究所主任研究員
2004年 信州大学工学部准教授 2011年教授
2013年 - 京都大学生存圏研究所教授

*** 同時開催 *** 第27回「あすなろ夢建築」大阪府公共建築設計コンクール入選作品展

このコンクールは、実践教育の場を提供することで、生徒たちに夢と感動を与え、将来の技術者の育成を図るとともに、永く府民に愛され、親しまれる公共建築づくりの推進を目的としています。大阪府内の高校生や専修学校生等を対象に、小規模な公共建築を題材として作品を募集し、グランプリ作品を実際に建設しています。第27回は、「多世代が集い逢う場」をテーマに堺市内の府営住宅集会所の提案を募集し、記録的な応募数であった前回と同数となる応募をいただきました。その中からグランプリ作品を含む優秀作品数点を展示します。

● 見学会 ● 平城宮跡歴史公園 ～朱雀門ひろば～



見学日 平成30年11月28日(水) 14:00~16:30 (受付開始 13:30)

集合 平城宮跡歴史公園平城宮いざない館 会議室

<https://www.heijo-park.go.jp/infomation/access/>

見学内容 朱雀門、平城宮いざない館、天平うまし館、天平みつき館など
専門家から各施設の概要などを聞き、見学していただきます。



参加申込書

参加費無料 一般の方もご参加いただけます。

申込方法 FAX: 06-6943-7576 E-mail: kouen@pba.or.jp

締切日 講演会: 平成30年10月30日(火)・見学会: 平成30年11月21日(水)

ご希望の講演会、見学会をお選びください。(複数可)

※それぞれ応募者が多数の場合は先着順と致します。参加当日は申込書の控えを受付にご提示願います。

問合せ 一般社団法人公共建築協会近畿地区事務局 TEL: 06-6943-7571

ご希望の□欄を■黒塗りしてください。

11月6日(火) 講演会

11月28日(水) 見学会(平城宮跡歴史公園)

参加者氏名

電話番号

FAX 番号

Mail

住所

〒

所属(建築関係にお勤めの方はご記入お願いいたします)

※お送りいただいた個人情報は、内部資料に留め、他の目的に使用することはありません。

主催 / 一般社団法人 公共建築協会近畿地区事務局 後援 / 「公共建築の日」及び「公共建築月間」近畿地方協力支援会議
近畿地方協力支援会議とは、近畿地方整備局、大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県、福井県、大阪市、京都市、神戸市、堺市の
営繕担当課長等で構成されている会議です。

この講演会は「建築CPD情報提供制度」のプログラムに認定予定です。

き 木になる日本の建物

～過去に学び未来にいかす木造建築～

「公共建築の日」及び「公共建築月間」のイベント

講演会

本イベントでは、より多くの方に木材を利用することの重要性やその活用法を知っていただくために、文化財の復元や最近の木造建築、木質化など、建築分野における木材利用の現状と将来について講演していただきました。

- 開催 平成30年11月6日(火) 13時30分～
- 会場 国民會館武藤記念ホール 大ホール
- 出席 134名



村上宮繕部長挨拶

講演会の様子

■演題

「特別史跡平城宮跡における大型木造建造物の復元」

公益財団法人 文化財建造物保存技術協会

参事 春日井 道彦 氏

大型木造建造物の復元について、朱雀門や第一次大極殿の実例により古代技法における木材利用などについて分かりやすく説明していただきました。



「木材活用の現在

－最近の設計事例より－

株式会社 東畑建築事務所

フェローデザイン・オフィサー 中村 文紀 氏

近年完成した4施設を事例に、近代建築における木造や木質化の現状について、最新のハイブリッド構造、CLTパネル構法などを交え分かりやすく説明していただきました。



「木を使った建築物

日本における今後の展開と期待」

京都大学 生存圏研究所生活圏構造機能分野

教授 博士(工学) 五十田 博 氏

木造建築の耐震性や耐火性能等の課題や近年の木造建築の高層化、混構造やCLT等の最新の技術について、実例や実験を交え分かりやすく説明していただきました。



■アンケート

今回の講演会では、約90%の方に満足との回答を頂きました。代表的な意見は下記の通りです。

- ・木造建築が多視点で説明され理解しやすい
- ・説明が具体的で興味深かった
- ・木材を使用した建物は、やはり見た目が美しいので、混構造で安全で美しい建物が増えてほしい
- ・住宅以外で木造が増えてきている事実を実感
- ・木造の見た目や質感等、日本人には慣れ親しまれている様に再認識 など

き 木になる日本の建物

～過去に学び未来にいかす木造建築～

「公共建築の日」及び「公共建築月間」のイベント

講演会同時開催パネル展示

講演会の開催にあわせて、第27回「あすなろ夢建築」大阪府公共建築設計コンクール入選作品展を開催しました。

このコンクールは、実践教育の場を提供することで、生徒たちに夢と感動を与え、将来の技術者の育成を図るとともに、永く府民に愛され、親しまれる公共建築づくりの推進を目的としています。大阪府内の高校生や専修学校生等を対象に、小規模な公共建築を題材として作品を募集し、グランプリ作品を実際に建設しています。



パネル展の様子

見学会

- 開催 平成30年11月28日(水) 14時～
- 会場 平城宮跡歴史公園平城宮いざない館 会議室
- 出席 100名
- 見学 平城宮いざない館
朱雀門
天平うまし館、天平みつき館など

■説明

「平城宮跡第一次大極殿復原」

公益財団法人 文化財建造物保存技術協会
参事 加藤 修治 氏

「平城宮跡歴史公園

朱雀門ひろば西側地区観光交流拠点施設」

株式会社 ニュージェック
建築グループ技師長 山口 圭一 氏



■アンケート

今回の見学会では、約75%の方に満足との回答を頂きました。代表的な意見は下記の通りです。

- ・苦勞したことや裏話的な話が聞けたこと
- ・熱心な講師、ボランティアに感謝
- ・大極殿の苦勞話がまだまだありそう
- ・当時の工法で復元する試みを続けて頂きたい

